
シンポジウム 1

看護職のストレスとキャリア開発

●シンポジウムの趣旨

感情労働である看護職は、古くからストレスと職務の密接な関係がクローズアップされている。看護が5K、7Kの仕事と言われた時代から、人員不足の解消や、看護補助者の導入など、様々な看護職の負担軽減対策が取られてきた。しかし、医療体制の変化や、医師の働き方改革など、新たな課題とともに、看護職のストレスが軽減しない状況が続いている。

一方、看護職のキャリア開発が進み、多様なキャリアが存在している。自身のコーピングやソーシャルサポートを上手く活用し、ストレスと共存しながらキャリアを継続していく必要がある。

今回、様々な看護職のキャリアの段階にあるシンポジストと、どのようなストレスを抱え、どう対処しキャリアを積んでいるかを共有し、個人と組織のストレス対策について考えていきたい。